

第 10 回中学生交流プログラム インドネシアへの派遣事業 奨学生募集要項

AFS は、異文化を体験し、違いを受け入れることが相互理解への道と考えて、1947 年に交換留学制度を発足し、これまでに世界全体で 45 万人の異文化体験を支援してまいりました。日本からは、1954 年以来、2 万人以上の高校生が参加し、世界各国で貴重な体験を送っています。このたび公益財団法人かめのり財団より委託を受け「第 10 回中学生交流プログラム インドネシアへの派遣事業」を実施する運びとなりました。

かめのり財団は、2006 年の設立以来、日本とアジア・オセアニアの若い世代との交流を通じて、未来にわたって日本と各国との友好関係と相互理解を促進するとともに、その懸け橋となる人材の育成を図ることを目的に数多くの若者の交流を支援しています。

10 回目となる本事業では募集地域を限定して公募をしており、本年度は北海道を対象地域といたします。同世代の参加生や現地の人たちと様々な形で交流し、異なる文化間でのコミュニケーションの重要性を学ぶと同時に、インドネシアの歴史、社会、文化、教育、日本との関係などに対する理解を深めます。また、第 10 回は「多様性の中の統一」をテーマに、イスラム教・キリスト教施設への訪問、スマトラ島へのフィールドトリップ、現地家庭へのホームステイ等を通じ、多宗教・多民族国家であるインドネシアの理解を深めます。

また、研修期間中は参加生が五感で感じ、自らの力で考えることができるよう、一切のデジタル機器（携帯電話・スマートフォン、タブレット、ゲーム・音楽機器、デジカメ等）の使用を制限します。それによって現地での体験をより有意義なものとし、同時に参加生同士の協力体制の構築、および自身の自立の機会とすることを目指します。

関係機関

主催 公益財団法人かめのり財団
実施 公益財団法人 AFS 日本協会
協力 Bina Antarbudaya (AFS Indonesia)

実施期間

1. 2018 年 7 月 14 日（土）～ 15 日（日） 出発前研修（1 泊 2 日） 札幌市内
2. 2018 年 8 月 4 日（土）～ 13 日（月） 現地研修（9 泊 10 日） インドネシア
3. 2019 年 1 月 11 日（金）～ 12 日（土） 予定 事後研修・かめのりセッション 東京都内

派遣人数

10名予定 ※書類審査、面接審査を経て参加生決定。ほか引率指導者1名を予定

応募資格

プログラム参加時（2018年8月）に、学校教育法に定める日本の中学校、中高一貫校の中等部もしくは中等教育学校の第1学年から第3学年に在籍し、次の項目をすべて満たしていること。

- ① 北海道に所在する中学校に在学していること。
- ② インドネシアに渡航可能な旅券を有するか取得予定であること。
- ③ 出発前研修（札幌）、インドネシアでのプログラムの全行程および事後研修・かめのリフォーラム（東京）に全行程参加できること。
- ④ インドネシアに在住経験がないこと、またインドネシア在住の家族・親戚がないこと。
- ⑤ インドネシアで実施された同様の研修プログラムの参加経験がないこと。
- ⑥ 心身ともに健康でインドネシアでの研修および生活に十分適応できること（参加生には健康診断書を提出していただきます。）。
- ⑦ 研修プログラムの趣旨を理解し、準備、参加できること。
- ⑧ 他国の文化を尊重し、現地の人々と積極的に交流する意欲があること。
- ⑨ 奨学生として、協調性のある行動ができること。
- ⑩ 在学校の学校長から推薦されること。
- ⑪ 現地の人々と、最低限のコミュニケーションがとれる英語力をもっていること。

参加費用

無料（日程に係る国際航空運賃、行程中の宿泊、食事および視察・見学に係る経費を負担します。）

◇ ただし、以下の経費は参加生本人の自己負担となります。

- ① パスポート取得料（応募時点で取得していることが望ましい）
- ② 健康診断料
- ③ 海外旅行傷害保険（任意）
- ④ 自宅から出発前研修会場（札幌市内を予定）までの往復旅費
- ⑤ 出発前研修中・現地研修中・事後研修中の個人経費（電話代、お小遣いなど）
- ⑥ 現地研修渡航時（8月4日～13日）の自宅から羽田空港までの往復旅費

備考：全体集合・解散は羽田空港を予定しております。全体集合前（解散後）に、AFSスタッフが羽田空港の国内線到着の出迎え（出発の見送り）対応をいたしますので、保護者の皆様の引率は道内各空港までお願いいたします。

応募方法

以下①～③の書類を、AFS 日本協会（以下の「問い合わせ先」）へ郵送してください。

① 参加申込書

② 推薦書*

*一校から5名までの推薦が可能です。

③ 作文課題：a) インドネシアについてあなたが知っていることを書いてください。

b) それについてどう思うか、あなたの意見を述べてください

a・b あわせて800字以内で、必ず応募者本人が自分で調べた上で、手書きで作成してください。

応募期間

2018年4月10日（火）～5月7日（月） 必着

選考

1. 書類審査の結果を2018年5月14日（月）以降に通知します。通知は応募者本人と学校宛に送付します。

2. 書類審査通過者に面接審査を実施します。

2018年5月26日（土）または27日（日） 札幌市中央区内を予定

※面接会場と時間は個々に連絡します。

※面接会場までの交通費は自己負担です。

3. 面接審査の結果を6月初旬に通知します。通知は応募者本人と学校宛に送付します。

事後活動

1. 報告レポートを提出してください。

2. 主催団体、実施団体などの要請に応じて広報活動などに協力ください。

問い合わせ先

公益財団法人 AFS 日本協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-14 ミツヤ虎ノ門ビル7F

中学生交流プログラム担当 高橋、高田

電話 03-6206-1913

FAX 03-3507-4300

E-mail info@afs.or.jp

第 10 回中学生交流プログラム インドネシアへの派遣事業 日程

1. 出発前研修

日程 2018年7月14日(土)～15日(日) 1泊2日

場所 未定(札幌市内を予定)

内容 異文化理解学習アクティビティ、日本文化紹介準備、事前学習、渡航安全対策 他

2. 現地研修

日程 2018年8月4日(土)～13日(月) 9泊10日(うち、機中泊2泊)

行き先 インドネシア

内容 イスラム教・キリスト教施設訪問・スマトラ島へのフィールドトリップ、
歴史・文化名所見学、日本大使館表敬訪問、学校訪問、ホームステイ 他

日次	内容(予定)
1	8月4日(土) 道内各空港→羽田空港(各自で移動。AFSスタッフが出迎え) 午後:全体集合、結団式(羽田空港)、現地渡航 機中泊
2	8月5日(日) AM ジャカルタ到着(到着後、休憩) PM 到着オリエンテーション ジャカルタ泊
3	8月6日(月) ジャカルタ地区学校訪問(プレゼンテーション・現地生徒との交流他) 日本大使館表敬訪問・イスラム・キリスト教施設訪問 ジャカルタ泊
4	8月7日(火) AM ジャカルタ→シボルガ(空路) PM ホームステイ体験 シボルガ(ホームステイ)泊
5	8月8日(水) AM 北スマトラ州地区学校訪問(プレゼンテーション・現地生徒との交流他) PM テーマ学習 シボルガ(ホームステイ)泊
6	8月9日(木) 自然・歴史・文化名所訪問など シランジット泊
7	8月10日(金) 自然・歴史・文化名所訪問など シランジット泊
8	8月11日(土) AM シランジット→ジャカルタ(空路) PM 成果発表会 ジャカルタ泊
9	8月12日(日) AM ジャカルタ郊外観光 夕方 ジャカルタ出発 機中泊
10	8月13日(月) 早朝:羽田空港到着後、解団式(全体解散) AM:羽田空港(AFSスタッフが見送り。各自で移動)→道内各空港

第 10 回中学生交流プログラム インドネシアへの派遣事業 参加申込書

ふりがな 氏名(漢字)	男・女	生年月日 20 年 月 日	縦 40mm×横 35mm (無背景顔写真貼付。 表情の明るい写真を用いること。裏面に氏名を記入。)
氏名(ローマ字) ※パスポートをお持ちの場合には パスポートと同じ表記 を記入のこと			
ふりがな	e-mail 使用経験 有・無		
現住所 〒 <small>マンション・アパート名も記入してください</small>	「有」の場合アドレス: ※内定後オンライン課題があるため、「無」の場合、後日取得して頂きます。		
保護者名	続柄	TEL() —	
		FAX() —	
		携帯 TEL(本人):	
		携帯 TEL(保護者):	
		e-mail(保護者):	
緊急連絡先 氏名 住所 〒	※住所は現住所と異なる場合のみ記入 (続柄:)	TEL() — FAX() — e-mail: 携帯 TEL:	
在学学校名(ふりがな)		2018年4月現在	
国立 公立 私立	中学校 中等部 中等教育学校	第	学年
在学学校住所 〒	TEL() — FAX() —		
家庭配属に際し、健康、運動、食事面での制約がありますか。 (例: ハウスダストに敏感でくしゃみが出ることもあるが、通常の生活に支障はない。)			
資格・特技・趣味 (例: 英検準2級、柔道初段)			
小学校1年生以降の海外渡航歴(渡航先、渡航時期・期間、渡航目的)			

上記の通り申し込みをいたします。

年 月 日

申し込みに同意いたします。

年 月 日

本人署名 _____

保護者署名 _____

保護者署名 _____

公益財団法人 AFS 日本協会 御中

学 校 名 :

所 在 地 : 〒

学 校 長 名 :

学校長
印

推 薦 書

本学は学校教育法の定める日本の中学校もしくは中等教育学校で、本学在学中の下記の者を「第 10 回中学生交流プログラム インドネシアへの派遣事業」に示された応募資格のすべてを満たすものとして推薦いたします。選考試験に合格した場合には、所定の出発前研修、現地研修ならびに事後研修の全行程に参加することを許可します。

記

生徒氏名 _____ 学年 _____ 年

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日生まれ 性別 _____ 男 ・ 女

英語力 (該当欄に○をしてください)

実用英検 2 級または同程度 実用英検準 2 級または同程度 実用英検 3 級または同程度

その他 (程度を明記してください) _____

推薦理由 (人物面、学業・学校生活、意欲・素質についても含めてください)

※備考：一校から 5 名までの推薦が可能です。

作成者氏名 : _____

以上